

何事にもチャレンジ

教授 新宅 賀洋

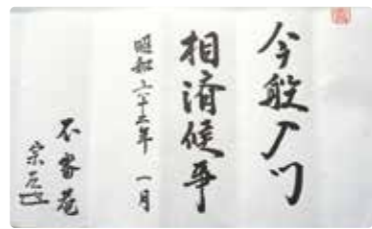


茶道がテレビで取り上げられたり、抹茶を飲む機会があったり、お菓子がきれいであったり、お菓子がきれいであつたりと以前から茶道に興味を持っていました。で、大学一年生の時に茶道部に入学しました。

入部した茶道部は表千家でした。茶道に流派があることをこの時に初めて知りました。「表千家」「裏千家」「武者小路千家」という三千家があり、これらは千利休(せんのりきゅう)の孫である千宗旦(せんのそうたん)の子どもたちが作ったものだそうです。

お茶の稽古は、まず和室への入り方、挨拶の仕方、室内を歩く時は静かに足を運び一畳を六歩で歩くこと、薄茶の飲み方、お菓子の頂き方などお客としてのふるまい方を習います。点前が終わるのに二十分程度かかり、正座を続けることがでず力月は苦勞しました。次に、薄茶の点前ができるように、袱紗のさばき方、柄杓の持ち方、茶筌でお茶を点てることなどを部分的に習いました。それらができてからやっと薄茶の点前を披露し、先生、先輩に指摘して頂き、また練習するといふ繰り返しです。

My Favorites



入門の免許状

さらに薄茶と同じような手順で、濃茶とよばれる濃い抹茶の飲み方、濃茶の点前を習いました。そして約二年後に、写真にある最初の免許状を頂きました。一方、他大学の茶道部の方や先生の関係者の方を招待して、年に一回自分達で茶会をひらきました。これに向けて部員全員が稽古に励むといつても過言ではありません。自分達で献立を考えて調理した懐石料理を茶会に出していました。他大学の茶会に出席し、他大学の良いところを学ぶこともあり、充実した日々を送りました。

お茶の点前以外に、季節にあつた花が床の間に飾られること、お菓子にも季節感があること、茶碗には正面(絵などがあつてお茶客に正面を向けて置く)と裏面(茶碗の絵を見て楽しむ)ことなども知りました。「お客が楽しい、居心地良いということが一番である」とも習いました。

今、フードコーディネーター論、調理実習、高齢者や幼児の食についての授業を担当しています。それらの授業は、日本文化に関わることもあり、茶道で学んだ多くのことが役に立っていると実感しています。また、機会をみつけて茶道を習いたいなと思っています。

高大連携講座が始まりました

本学では地域貢献活動の一環として、高大連携講座を実施しています。高校生を対象に、大学の授業を体験し、大学での学びや専門分野に興味を持つてもらうことを目的としています。

今年度も、兵庫県立伊丹西高等学校と兵庫県立尼崎高等学校から依頼を受け、教員が授業に出向いています。

兵庫県立伊丹西高等学校では、「総合ヒューマン類型」の講座が始まりました。

五月十二日には二年生を対象に、『介護のためのコミュニケーション』と題し、堀内特任専任講師が、介護や保育、看護の分野で活用できるコミュニケーションについて講義と実技を行いました。

続いて五月二十八日には、一年生を対象に『保育の仕事について』と題し新家特任専任講師が、幼稚園と保育園の仕事についての講義を行いました。

兵庫県立尼崎高等学校では、「教育と絆コース」の二年生を対象に六月十八日より始まりました。

『保育講義と実習』では、真剣な眼差しで講義を聞く姿勢と童心に帰る遊びを楽しんで体験する対照的な姿が見られました。

今後、保育や介護に関する様々な講座が続きます。

また、甲子園学院高等学校対象の連携講座も全学年を対象に始まりました。

短期大学の専門的な授業を受け、大学の授業に少しずつ慣れていき、将来の進路決定に役立つ充実した講座となつていきます。

短大の施設を利用した連携講座は、他にも多くの高校が利用しています。講座の内容は多岐にわたっており、これからも、様々な高校からの講座の依頼を積極的に受け、高大連携講座を充実させていきたいと考えています。

平成二十七年 後援会総会開催

短大後援会総会が、五月二十九日午後一時半から、短大二階多目的演習室で開催されました。

短大側から瀧上校長、永藤学長補佐、土橋学生部長、増田後援会担当特任准教授等が出席しました。

総会では後援会会計の決算・予算が承認され、役員改選では、武内昭二会長、西山正夫会計監査が新たに選任され、矢田純一副会長、鍛冶山則幸書記、増田明会計、山崎豊雄会計監査は再任されました。

その後、短大側から本年度の行事予定や就職の現状等について説明があり、最後に出席保護者と担任との個別懇談の場が持たれました。

甲子園短大通信 第79号
(編集・発行)甲子園短期大学広報委員会
〒663-8107 西宮市林町四一五
TEL:079-653-3300 FAX:079-653-7901
http://www.koshien-c.ac.jp

COLLEGE INFORMATION



甲子園短大通信

甲子園短期大学 発行

平成二十七年 入学式



平成二十七年度入学式は四月四日、甲子園学院理事長久米知子先生はじめご来賓の方々との臨席のもと、学院高校講堂において執り行われました。

開式後、瀧上凱令学長から以下のような式辞がありました。

『甲子園短期大学は、昭和三十九年四月に、女子教育の仕上げの場として、現学院長久米利男先生により創設されました。』

甲子園学院の建学の精神は「勤勉努力」「和衷協同」「至誠一貫」の校訓三綱領です。甲子園短期大学のすべての構成員は、この三つの訓えを校

訓とし、教育の根幹に据えております。時代は変わりましたが、今の時代に生きる皆さん方にも、この訓えは人間性の基本として、非常に大切なものと言えます。皆さんはこれから、何度でもこの校訓を聞くことになるでしょうが、言葉を知るだけではなく、実践できるようになっていきたいと思っております。

世界は今大きな時代の変わり目を迎えております。この先、社会がどうなっていくのか、まったく分からない状態です。皆さん方は、そのような社会で力強く生きていかなければなりません。そのためには専門的な知識や技能を身に付けておくことが必要です。しかしながら、世の中の変化は急激ですから、身に付けた知識や技能はすぐに古くなってしまいます。知識や技能を身につけるだけでなく、知識や技能の身に付け方も学んでいただく必要があります。

もう一つ身に付けていただきたいのは、幅広い教養です。物事を考えるための知識と考え方です。これからの二年間、この大学で専門的知識と技能を身に付け、幅広い教養を身に付け、知識や技能や教養の学び方を身に付け、自分を磨いていけることを期待しております。

二年間はあつという間に過ぎてしまいきます。学友や教職員との交わりを大切に、二年間のキャンパスライフを実り多いものにしていただき

て、また、大学祭などの行事を通じて、クラスメートと共に沢山の楽しい体験をしてください。そして、多くの友情を育ててください。『

これを受け、新入生代表の大槻美咲さん(幼児教育保育学科)のお礼

ガーデンコンペに参加 フラワーフェスティバル in 西宮

五月二十二日から二十四日にかけて、西宮市役所前の六湛寺公園で開催された「第十六回フラワーフェスティバルin西宮」に、本学学生が参加しました。



このイベントでは、ガーデンコンペ、園芸教室、花と緑のまちづくり展示、環境学習展、エコクラフト教室、地場野菜の即売会、花苗の販売などが行われ、会期中は延べ八四〇〇人の来場者数があつたとのことです。

「ガーデン」をテーマとし、活動的で元気が出る赤色、愛らしくリラッククスするピンク色を用いて、かわいいたいガーデンに仕上げました。また、「コンテナ・ハンギング部門」にも三作品(テーマ「貴婦人のルージュ・ガーデン」)、「風薫る季節」)、そよ風とラベンダーと私と)を出品しました。園芸部の一周年はこの出品を通じて、初めて寄植えを体験しました。

出品される作品のレベルが年々高まる中、今回は、「コンテナ・ハンギング部門」ではすべて奨励賞を受賞することができました。

当日は良い天気恵まれ、イベントには多くの方々参加していただきました。学生はカメラとメモを片手にたくさんのイベントに参加し、地域の参加者とも交流をしながら楽しい時間を過ごしている様子でした。



本学一周年が「生活環境学概論」「生活園芸I」「園芸I」「ガーデンワーク」の授業におけるフィールドワークの一環として本イベントを見学しました。

平成28年度甲子園短期大学入試日程

Table with columns: 区分, 出願期間, 窓口出願日, 選考日. Includes AO入試日程 and general admission details.

平成二十八年年度の学生募集は、AO入試、推薦選考、一般選考、指定校推薦および社会人選考の各方式で行われます。

平成二十八年年度学生募集

国家資格の取得を目指して

生活環境学科 介護福祉専攻

わが国では、団塊の世代が六十五歳以上の高齢者となり、さらに十年後には後期高齢者となることから介護の人材不足が懸念されています。



介護の授業は、医療依存度の高い要介護者に対応できるように昨年度から指定科目になりました。

平成二十七年年度 オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、各学科専攻の枠を超えて体験できるイベントで高校生を迎えています。



「アロマ体験」では、それぞれ好きな香りの精油を選んで自分だけのオリジナルコロンを作りました。

幼児教育保育学科

幼児教育保育学科では、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格の二つの国家資格の取得を目指して学んでいます。



今年度、二回生は五月二十五日から三週間、幼稚園での教育実習に行きました。

エキウム一般公開と新方法による蜂蜜づくり

Table with columns: 日程, イベント内容. Lists dates and activities like 'Donuts', 'Reading books', 'Aromatherapy'.

エキウム一般公開は、今年で九回目を迎えました。本学の地域交流活動として恒例の行事となり、新聞三紙(朝日、神戸、読売)にも紹介されました。



ことと期待しています。入学当初は少し緊張した様子で登学していた一回生もすぐに友だちができ、元気に過ごしています。

と十六日に公開し、三日間で約一九〇名の方々が見学に訪れました。十六日はオープンキャンパスとの同時開催で、訪れた高校生にも参加していただき、好評でした。